

組織名称	特定非営利法人 八女町並みデザイン研究会			
組織の所在地	〒 834-0031 福岡県八女市本町 315			
	TEL 0943-22-5804	FAX 0943-22-5804	MAIL naka-atelier-97@wind.ocn.ne.jp	HP
組織の構成	設計、工務店、大工、左官、建具、その他			員数 42名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無料相談、履歴調査</li> <li>・ 伝統技術の学習会</li> <li>・ 保存修理及び修景の設計、施工</li> <li>・ 普及活動（地元住民見学会、小学生の伝統技術の体験学習会）</li> </ul>			
活動の目標と試み	・ 伝統的建造物の保存と継承		八女市へ防災及び基準法緩和への協力	
	・ 正確な修理の確立		履歴調査学習会	
	・ 伝統技術の再生と習得及び継承		現場での学習会や体験学習会	
	・ 保存・再生の普及		小学生の体験学習会及び見学会	
対象地域	八女市内（八女福島重要伝統的建造物群保存地区及びその周辺）			
対象建物	伝統的木造軸組工法による戦前木造建築の特定物件及び新築修景物件			対象件数 約 300 軒
代表的な建物の特徴	外観	屋根	主屋根：燻し瓦 64 判、巴付唐草（京花）及び鎌唐草（京花）軒、2 段平熨斗、棟込瓦、2 段連結輪違、2 段平熨斗、角紐丸瓦等、覆輪鬼（屋号入）、鳥舎 袖下屋：燻し瓦 64 判、鎌唐草（京花）軒、2 段平熨斗 前下屋：燻し瓦 64 判、巴付唐草（京花）及び鎌唐草（京花）軒、2 段平熨斗、棟込瓦、2 段平熨斗（前下家は軒切り後庇に変わる）	
		壁	正面 漆喰、側面 漆喰、下見板、縦板目板押え、腰 青石（緑泥片岩）張り	
		開口部	大戸、藪戸、土戸、鉄板戸（単窓）、雨戸（連窓）軒切り後 1 階正面は腰板ガラス戸、雨戸、鉄格子に変わる。	
		その他	ベンガラ柿渋塗り、軒裏 漆喰塗込及び軒裏露し、軒切り後は前下家軒裏露し	
	内観	1 階は通り土間に沿ってミセ、ミセノ間、次ノ間、座敷、縁、上手側に便所、中庭を廻してダイドコ天井は梁床天井、2 階は表から倉庫（作業場）、次ノ間、主座敷、縁、天井は竿縁天井 倉庫は小屋組露し ベンガラ柿渋塗り 内法 5 尺 7 寸		
	構造	妻入母屋造り棧瓦葺きの木造 2 階建、通し 4～5 寸柱、側面胴差及び梁なし、張間は概ね 4 間まで。4 間を超えると袖下家を持つ。		
	その他	居蔵造り、商人・職人型の町家 昭和初期の軒切り		
保全・再生方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的に建築当時及び輝いた時代に戻す。（但し、1 階正面は軒切りのため昭和初期の状態）</li> <li>・ 履歴、痕跡調査を元に修理を施す。</li> <li>・ 保存する観点から建築物の構造、屋根、外壁などの修理を優先する。</li> <li>・ 現場を伝統技術の学習、再生、普及及び継承の場と考えている。</li> </ul>			
協力する団体	八女福島町並み協定運営委員会、NPO 町家再生応援団、地元福島小学校、まちづくり住民組織、地元住民、八女市			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行建基法との整合</li> <li>・ 伝統技術向上と再構等</li> <li>・ 伝建地区外の保存再生の普及</li> <li>・ 防災への取り組み</li> </ul>			
活動資金	年会費 3,000 円 賛助会員一口 10,000 円 会員の契約額に応じた運営協力金			
その他	7 年間の実績（09 年 3 月末時点）修理 38 件 修景 2 件 市内の上陽町北川内地区の伝統的建築物の調査及び景観計画の作成			